

## 1. 調査目的

2011年2月22日12:51、ニュージーランド南島のクライストチャーチでM6.3の地震が生じた。この地震では、主に、組積造住宅や歴史的文化的文化財建築物の崩壊<sup>1)</sup>が顕著であり、多くの人が崩壊した組積造建築物の下敷きとなって死傷しているが、3月3日現在では正確な死傷者数は把握できていない。また、木造住宅の被害も報告されている。ニュージーランドでは過去にも規模の大きな地震を何度か経験しており、2010年にも同じクライストチャーチでM7.0の地震が生じ、組積造建築物が被害を受けている。さらに、今回の地震は未発見の断層によって引き起こされたものであるが、世界有数の地震国であり、歴史的組積造建築物や伝統木造建物を多く保有する我国においても十分に起こりうる状況である。

以上を踏まえ、本調査では、地盤状態の分析や組積造建築物・木造建築物を中心とした建物被害についての調査・分析を行い、クライストチャーチで多くの建築物が被災した原因を究明する。

## 2. 調査項目

- a) 被害状況の確認：震源からの距離とそれに応じてどのような被害を受けたのか、被害状況とその程度をマッピングする。建物の被害の有無とその原因の分析を行う。
- b) 常時微動計測：地盤での微動計測を行い、表層地盤構造を確認する。調査対象は①地震観測点、②被災程度ごとに分類した建物の敷地地盤。
- c) 建物構造の把握：構造部材の詳細を調査する。組積造建物については、材料特性の把握を行う。RC建物については、偏心、層剛性のアンバランスなどの特徴を掴む。また、木造建物については、接合部仕様などを観察する。

## 3. 活動組織

寺田 岳彦（清水建設）  
福喜多 輝（清水建設）  
柏 尚稔（大阪大学）  
多幾山 法子（京都大学）

## 4. 滞在期間および宿泊先

活動は以下の日程で行う。

3/13 日本発  
3/14 クライストチャーチ 着  
3/15-18 調査  
3/19 クライストチャーチ 発  
3/20 日本着

宿泊は、以下の宿泊施設である。

MERIVALE MANOR : [www.merivalemanor.com](http://www.merivalemanor.com)